

総合社会教育研究協議会

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度	
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費
総合社会教育研究協議会	県	社会教育について総合的な研究協議を行なう。 対象人員 4,800人 単年度計画 参加人員 800人 会場 4会場 単年度経費 200千円 期間内事業費 200×6	千円 1,200	(同 左) 対象人員 6,000人 単年度計画 参加人員 1,200人 会場 6会場 単年度経費 300千円 期間内事業費 300×5	千円 1,500

第3 豊かな県民性を培う文化の振興

1 創造的文化の拡充

(1) 特色ある県民文化の志向

〔施策設定の理由〕

昭和35年度下期における経済企画庁の調査では、余暇時間の過ごし方について第15表のごとくまとめている。これによれば、一般にラジオ・テレビ・新聞を視聴するが圧倒的に多く、70%台を占めている。次いで休息、雑談、読書などが多くの比率を占めているが、いずれも消極的な受身の余暇利用が目立っている。積極的にみずから進んで教養を高め、文化を創り出すと思われる余暇の利用はあまり見られない。読書、趣味などはそれに近いが、労働者、個人営業者、さらに所得別にみると低所得層においてその比率が低いことは問題である。これは全国の調査であるが、本県の場合も同じようなことが言えると思われる。

第15表 余暇時間の過ごし方

		ラジオ	ごる寝	雑談	読書	買物	写真、	庭いじ	映画	散歩	その他
		テレビ	などの			訪問	いこと	り日曜			
		新聞	休息				趣味	大工			
総	数	76.1	34.1	32.2	33.9	12.3	6.1	3.0	3.2	1.9	21.8
世帯主の 職業別	勤 労 者	76.9	32.6	31.2	38.0	11.0	7.0	3.4	3.2	1.9	22.7
	職 務 者	78.9	30.6	27.9	44.7	10.7	9.0	4.0	2.7	1.7	22.3
	勞 務 者	73.4	36.1	36.8	26.9	12.3	3.5	2.4	4.0	2.3	23.3
	個 人 営 業 者	77.1	35.3	34.6	23.7	14.1	4.2	1.7	2.9	2.0	19.9
所得階 層 別	会社団体などの役員	79.5	26.7	34.2	35.6	12.3	9.6	5.5	2.1	1.4	21.9
	自由業者無職その他	65.7	45.3	32.7	31.1	14.8	4.1	2.5	4.4	1.9	21.1
所得階 層 別	30万円未満	68.2	38.2	38.3	28.8	13.9	3.7	2.9	3.8	3.2	22.0
	30～50万円未満	79.5	32.0	30.9	36.3	11.4	7.0	2.8	3.2	1.5	21.9
	60万円以上	80.3	32.1	27.4	36.8	11.6	7.7	3.8	2.5	0.9	21.8

(昭35下期 経済企画庁消費者動向予測調査)